

第2回 海の講座が始まりました。



昨年「海—その楽しさと不思議」をテーマで開始され、「海の世界と海の生き物」などをテーマにして「海」の生き物の生き様と保護について講座が行われました。今年も講座企画北海道大学名誉教授向井宏先生で「海—その楽しさと不思議を見て触って学びましょう」をテーマに6月11日芦屋市総合公園・会議室で始められました。

開講式、第1回は「小さなプランクトンの生物学」と題してパワーポイントスライドでプランクトンの種類とその姿について講義された後、午前中向井先生ご夫妻と「森と海の自然科」のメンバーが講座会場に近い芦屋川の2カ所で淡水系を、芦屋川河口から海岸にかけ3カ所でプランクトンネットを投げ入れ採取したプランクトンを観察しました。

観察は受講者4、5人に1台の実体顕微鏡で、思い思いにスポイトで吸い上げたサンプルをのぞき込みました。サンプル採取の問題か、もともと少ないのか見えたプランクトンの数は少なかった、それでも見えた人は「見えた、見えた」と喜びの声と共に観察を続け楽しい時間が流れていました。2、3の受講者に受講動機を聞くと、「海」に興味があるからと直球の答えが返ってきました。表に示す講義、体験観察講座が11月にかけて行われます。

